

Cisco Media Convergence Server 7825-H1

製品概要

Cisco® Media Convergence Server 7825-H1 (MCS 7825-H1) は、Cisco Unity™ ユニファイド メッセージング システム用の強力なプラットフォームです。Cisco MCS 7825-H1 では、1 RU という小さなシャーシで、サーバプラットフォームで最も必要とされる機能を経済的な価格で提供します。

- Intel Pentium 4 3.4 GHz プロセッサ、800 MHz Front Side Bus (FSB; フロント サイド バス)、および 1 MB レイヤ 2 キャッシュ
- 1 GB PC3200 Double Data Rate 1 (DDR1) 400 MHz RAM
- ギガビット NIC (ネットワーク インターフェイス カード) × 2
- 80 GB Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ハード ディスク ドライブ × 2 (Redundant Array of Independent Disks [RAID] 1 構成)
- 取り付けが簡単なサードパーティ製レール キット
- 350 W 力率補正 (回路) 電源装置
- 1 RU (1.75 インチ) フォーム ファクタ
- Integrated Lights-Out (ILO) リモート管理

サポートされるアプリケーション

Cisco MCS 7825-H1 では現在、Cisco Unity アプリケーションのみがサポートされています。Cisco CallManager および他のシスコ IP テレフォニー アプリケーションのサポートが必要であれば、Cisco MCS 7825H-3000 を参照してください。

- Cisco Unity ユニファイド メッセージング (最大 24 ポートおよび 1000 のメールボックス)

Cisco MCS 7825-H1 サーバは、Cisco CallManager とともに Cisco Unity を展開する環境のみをサポートしています。Cisco Unity 音声カードを使って従来の PBX (構内交換機) と統合するといった展開には適していません。

主な機能と利点

パフォーマンス

Cisco MCS 7825-H1 は、最新の IP コミュニケーション アプリケーションのために設計された、アベイラビリティの高い堅牢なサーバプラットフォームです。Cisco MCS 7825-H1 は、Intel Pentium 4 3.4 GHz プロセッサ 1 基を使用し、800 MHz FSB を装備しています。

保守性

システム ヘルス LED

Cisco MCS 7825-H1 の前面および背面には、システム ヘルス LED とユニット 識別ランプが装備されており、システム問題を簡単に特定できます。内部コンポーネントに障害が発生すると、内部コンポーネント LED がオレンジになり、Cisco MCS 7825-H1 の前面パネル上に障害が発生したことが表示されます。ファンのようにサーバのカバーを取り外さないと保守できない部分に障害が発生した場合には、内部ヘルス LED が点灯します。障害が発生していなければ、システム ヘルス LED はグリーンです。重大な障害のためにシステムがシャットダウンすると、LED はレッドになります。

冗長 ROM

Cisco MCS 7825-H1 では、ROM は 2 つの論理セクションに分かれます。システム起動時には、プライマリ ROM 側が実行され、サーバの運用に使用されます。ROM フラッシュの際は、バックアップ側がフラッシュされます。フラッシュが完了すると、バックアップ側がプライマリになります。万一、停電などのためにフラッシュが正常に完了しなければ、バックアップを使用してシステムを起動します。イメージが両方とも有効であれば、ユーザはどちらのイメージを使用するかを起動時に選択できます。

保守しやすい SATA ディスクドライブ

Cisco MCS 7825-H1 には、RAID 1 ミラーセット構成の 80 GB SATA ディスクドライブ（ホットプラグ非対応）が 2 基装備されています。2 基のディスクドライブのいずれかに障害が発生しても、サーバは動作を継続できます。SATA ディスクドライブは、サーバの前面ベゼルを空けるだけで、エンド ユーザでも取り扱うことができます。1 基のドライブに障害が発生した場合、エンド ユーザはサーバのダウンタイムをスケジュールに組み込んだうえでサーバの電源を落とし、障害の発生した SATA ドライブを取り外して、未設定のスペアドライブに交換します（各ドライブには、確実にドライブをサーバに接続できるフロントラッチが装備されています）。サーバを再起動すると、RAID 1 フェームウェアによって新しいドライブの再ミラーリングが開始され、Cisco MCS 7825-H1 のドライブの冗長性が確保されます。Cisco MCS 7825-H1 で採用されているシリアルドライブテクノロジーによって、信頼性、パフォーマンス、およびコスト効率の高いソリューションが実現されています。

DAT テープドライブのサポート

Cisco MCS 7825-H1 では、オプションで外付けの 20/40 GB Digital Audio Tape (DAT) ドライブを使用できます。このテープドライブは、Small Computer System Interface (SCSI) ケーブルを使って SCSI ポートに接続します。外付け DAT ドライブ（部品番号 MCS-EXT-DAT）、および外部 SCSI ポートを提供する PCI ベースの SCSI カード（部品番号 MCS-EXT-SCSI）は、別売りとなっています。

製品仕様

表 1 に、Cisco MCS 7825-H1 の仕様を示します。

表 1 Cisco MCS 7825-H1 の製品仕様

プロセッサ（製品投入時）	
プロセッサ（CPU）	Prescott Pentium 4
プロセッサ内部クロック速度	3.4 GHz（以上）
レベル 2 キャッシュ	1 MB
最大プロセッサ数	1
出荷時のプロセッサ数	1
BIOS タイプ	フラッシュ メモリ
メモリ	
最大メモリ容量	4 GB
メモリ バス クロック	400 MHz
メモリ技術	PC3200 DDR SDRAM
ビットエラー緩和	Error Checking and Correction (ECC)
合計 RAM スロット数	4
搭載メモリ容量	1 GB (512 MB × 2)

RAID コントローラ	
コントローラ モデル	HP 内蔵型 SATA RAID コントローラ
インターフェイス	ボードに組み込み
キャッシュ	64 MB
バッテリー バックアップ式ライト キャッシュ	あり (128 MB)
サポートされる RAID レベル	1
ハード ディスク	
搭載ハード ディスク	80 GB × 2
ハード ディスク RPM	7200
ハード ディスク インターフェイスのタイプ	SATA、1.5 Gbps
ネットワーク接続	
イーサネット NIC	オンボード 10/100/1000 × 2
コネクタ	RJ-45 コネクタ × 2 (サーバ背面)
10 BASE-T ケーブルのサポート	EIA カテゴリ 3、4、または 5 Unshielded Twisted-Pair (UTP; シールドなしツイストペア) (2 または 4 ペア)、最大 100 m (328 フィート)
100 BASE-TX ケーブルのサポート	EIA カテゴリ 5 UTP (2 ペア)、最大 100 m (328 フィート)
1000 BASE-T ケーブルのサポート	EIA カテゴリ 6 UTP (推奨)、カテゴリ 5E UTP、5 UTP (2 ペア)、最大 100 m (328 フィート)
拡張オプション	
ホットプラグ非対応 133 MHz、64 ビット PCI-X スロット	1 (フルレングス)
ホットプラグ非対応 100 MHz、64 ビット PCI-X スロット	1 (ハーフレングス)
注: Cisco 7825-H1 は、Cisco Unity 音声カードを搭載して従来の PBX と統合することはできません。	
インターフェイス	
シリアル ポート	RS-232D × 1
パラレル ポート	0
USB 2.0 ポート	3 (シャーシ前面に 1、背面に 2)
キーボード ポート	PS/2 × 1
マウス ポート	PS/2 × 1
オーディオ ポート	なし
外部 SCSI ポート	なし

セキュリティ	
<ul style="list-style-type: none"> • 電源投入時パスワード • キーボード パスワード • ディスケットドライブ制御 • ディスク ブート制御 • 管理者パスワード • 着脱式の DVD-ROM およびディスクドライブ ユニット 	
電力	
最大入力電力	350 W
オート レンジ AC 入力	あり
力率補正 (回路) Power Factor Correction (PFC)	あり
入力周波数範囲	47 ~ 63 Hz
動作時の入力電圧範囲	90 ~ 132 VAC (最小) 180 ~ 264 VAC (最大)
入力電流	3.3 A (110 VAC) 1.7 A (220 VAC)
環境仕様	
温度 (サーバ動作時)	10 ~ 35°C (50 ~ 95°F)
温度 (サーバ停止時)	-20 ~ 60°C (-4 ~ 140°F)
湿度 (サーバ動作時)	10 ~ 90% (結露しないこと)
湿度 (サーバ停止時)	10 ~ 95%
BTU 定格	870 BTU/h (255 W 最大構成あたり)
音響ノイズ (アイドル時)	6.2 bel (動作時)
冷却システム	ファン搭載 (× 5)
外形寸法	
フォーム ファクタ	1 RU
ラックマウント	標準のサードパーティ製ラックに対応
重量 (最大)	11.15 kg (24.58 ポンド)
高さ	4.24 cm (1.67 インチ)
幅	48.3 cm (19.0 インチ)
奥行	55.6 cm (21.9 インチ)

発注情報

表 2 に、Cisco Unity ユニファイド メッセージング システムの発注情報を示します。

表 2 Cisco Unity ユニファイド メッセージングの発注情報

製品名	製品番号
Cisco Unity ユニファイド メッセージング システム	UNITY-BUNDLE

サーバのスペア品

スペア サーバを発注する際は、下の表を参照してください。

表 3 スペア サーバの発注情報（アプリケーション別）

アプリケーション	スペア製品番号
Cisco Unity ユニファイド メッセージング システム	MCS-7825-H1-ECS1

現場で交換可能なスペア品

サーバのスペア部品を発注する際は、下の表を参照してください。

表 4 サーバのスペア部品の発注情報

スペア部品番号	説明
MEM-7825-H1-512=	スペア 512 MB SDRAM DIMM（Cisco MCS 7825-H1 サーバ用）
HDD-7825I1-80=	スペア 80 GB SATA ハード ディスク ドライブ（ホットプラグ非対応）

サーバの CPU 速度の識別情報

Cisco MCS 7825-H1 では、Intel 社によって高速のプロセッサが更新されると、サーバのプロセッサが変更されます。表 5 は、シャーシに記載されるシスコの製造部品番号を示しています。これによって個々のサーバのプロセッサ速度を識別できます。

表 5 製造部品番号（プロセッサ速度別）

プロセッサ	製造部品番号（サーバに記載）	導入
Intel Pentium 4 3.4 GHz	74-3189-03	サーバの初期生産時

サービスおよびサポート

シスコは、お客様のネットワークへの投資を最大限に活用し、ネットワーク運用を最適化するとともに、最新アプリケーションに対応できるようにネットワークを整備し、よりインテリジェントなネットワークを構築することによって、お客様の事業拡大を支援しています。

保証に関する情報

シスコは、Cisco MCS について 1 年間のハードウェア保証を行っています。この保証の条件については、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/1y1cen_.htm をご覧ください。

©2004 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問合せ先